

# 縮小の卒業式に「華」添えて 中能登中にエアリーフローラ

3/12(木) 2:00配信

北國新聞  
THE HOKKOKU SHINBUN



卒業生に贈るエアリーフローラ＝  
中能登町内

中能登町シルバー人材センターは、14日に行われる中能登中の卒業式で、町内で栽培した県産フリージア「エアリーフローラ」を卒業生全員に贈る。新型コロナウイルス感染症の影響で式の規模が例年より縮小され、出席できない家族もいる中、式に文字通り「華を添え」、孫世代に当たる子どもたちの巣立ちを祝う。

卒業式では、在校生は例年通り出席するが、来賓を呼ばず、保護者は卒業生1人につき2人までと制限される。卒業生への花の贈呈は同センターで初の取り組み。両親や祖父母が出席できない代わりに、花をプレゼントして少しでも式を盛り上げたいと考えた。

センターは毎年、中能登中近くのビニールハウスで、会員がエアリーフローラを栽培している。通常は、道の駅「織姫の里なかのと」や金沢市公設花き地方卸売市場に出荷している。センターによると、今シーズンも上々の出来栄えという。

式の当日は、会員が丹精したピンクや黄色の花を卒業生約180人にそれぞれ2本ずつ包装して手渡す。同センターの福井清久理事長は「コロナに負けず、エアリーフローラの花言葉である『希望』を胸に未来へ羽ばたいてほしい」と期待した。

林大智校長は「大変うれしい。卒業式の縮小は残念だが、卒業生もきっと喜ぶはずだ」とセンターの取り組みを歓迎した。

北國新聞社

最終更新:3/12(木) 2:00

北國新聞社